

第3回北部地域医療勉強会

参与 大屋 祐輔



第3回北部地域医療勉強会

日時：令和8年1月26日（月）18：30～20：00

場所：名護市産業支援センター 2階大会議室

（オンライン併用）

テーマ：北部地域における救急医療の現在地とこれから
- 新たな地域医療構想を踏まえて -

開会：一般財団法人沖縄県北部医療財団 理事長
大屋 祐輔

1. 講演：新たな地域医療構想について【30分】

厚生労働省医政局 地域医療計画課長

西嶋 康浩氏

2. 報告①：沖縄県の救急医療の現状について【15分】

- 県立病院・大学病院での経験から -

琉球大学大学院医学研究科

（救急医学講座）教授

琉球大学病院 副病院長 梅村 武寛氏

報告②：北部地域の救急医療の現状について【20分】

(1) 県立北部病院 救急科 部長

玉城 佑一郎氏

(2) 北部地区医師会病院 救急科 科長

鍛 良之氏

3. 自由討論【20分】

閉会

去る1月26日（月）、名護市産業支援センターにおいて、厚生労働省および内閣府のご協力のもと、沖縄県医師会と沖縄北部医療財団の共催により、北部地域医療勉強会を開催いたしました。従来は県内を中心に講師を招き、レクチャーを受けた上で北部地域の医療の現状について参加者で語り合い、その発展を目指す会として実施してまいりました。今回は、現在進行中の「新たな地域医療構想」について、厚生労働省の方向性を直接伺いたいとの考えから、厚生労働省医政局地域医療計画課長の西嶋康浩氏に来沖いただきました。

招聘にあたりましては、沖縄北部医療財団のミッションである北部基幹病院整備に関わっていただいている内閣府沖縄振興局より多大なるご支援を賜りました。この場をお借りして感謝申し上げます。また、せっかくの機会でもありましたので、沖縄県医師会のご理解のもと、同医師会の共催を得て、県内の医療者にWEB会議

として公開いたしました。参加者は75団体118名（うち現地参加34名）にのぼり、盛会のうちに終了いたしましたことを、まずご報告申し上げます。

さて、当日の内容ですが、まず基調講演として西嶋氏より「新たな地域医療構想について」と題してご講演をいただきました。その基本的な方向性として、これまでの地域医療構想が病床の機能分化と連携を中心としていたのに対し、今回の構想では入院医療のみならず、外来・在宅医療、さらには介護との連携等を含め、医療提供体制全体の課題解決を図るものとする旨が示されました。すなわち、今後急速に増加する85歳以上の高齢者に対応し、地域の患者・要介護者を支えるため、地域全体を俯瞰した構想とすること、そして将来の医療の連携・再編・集約化を見据え、医療機関の機能に着目した医療提供体制を構築すること、さらに限られたマンパワーの中でより効率的な医療提供を実現することを目指すものであると説明されました。あわせて、その具体的な背景データや施策の方向性についてもご紹介いただきました。これらの課題は、北部地域が現在直面している問題であり、今後は沖縄県全体でも生じてくることが予想されます。改めて、それらへの備えが必要であると感じました。

続いて、琉球大学大学院医学研究科（救急医学講座）教授・琉球大学病院副院長の梅村武寛先生より、「沖縄県の救急医療の現状について—県立病院・大学病院での経験から—」と題してご講演をいただきました。沖縄県の全国とは異なる救急医療体制について、その強みと課題、そして今後取り組むべき方向性が示されました。これまで医師育成の手段として、また県民の健康を守る体制として機能してきたER型

救急が、時代の変化とともに機能できなくなりつつある現状に言及があり、我々医療者も「患者がいるから診る」という姿勢だけでは不十分で、体制の改善も継続的に行う必要があることを改めて認識いたしました。

続いて、県立北部病院救急科部長の玉城佑一郎先生と、北部地区医師会病院救急科科長の鍛良之先生より、それぞれの立場から「北部地域の救急医療の現状について」のご発表をいただきました。

玉城先生からは、一次・二次救急の受け入れは適切に行われている一方で、専門医不在により脳神経外科や皮膚科などの患者が中南部へ搬送されるケースが多い現状が示されました。また、緊急性や離島との距離の問題を補う取り組みとして、メッシュ・サポートによる民間航空機運航が行われていることについても説明がありました。

鍛先生からは、同様に専門医不足に伴う搬送増加の背景について説明があり、その課題解決のツールとしてICTツールであるJOINを活用しているとの報告がありました。北部の二つの急性期病院を中心に、4つの消防本部・消防組合および3つの離島診療所がJOINで連携し、中南部の8つの医療機関・救命救急センターへの搬送を、より迅速かつ効率的に行える体制が整いつつあるとのことでした。

以上の発表に対して質疑応答が行われ、地域からの要望等も西嶋氏に直接伝えられました。今後の沖縄北部の医療提供体制を考えるうえで、大変重要な勉強会であったと感じております。

最後になりますが、ご発表いただいた演者の皆様、ならびに現地およびWEBでご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

